

グローバル人材の育成めざし奨学金スタート 湘南高校創立100周年記念事業

「公益財団法人 湘友会奨学財団」が認可

神奈川県立湘南高等学校(以下、学校)は、2021年に創立100周年を迎えます。現在、卒業生の同窓会である湘友会は、学校とも協力して、いろいろな記念事業を準備しております。それらの一つとして、奨学財団を設立し、将来 海外雄飛を目指す在校生(卒業後2年以内の卒業生を含む)に奨学金を給付し支援する制度を立ちあげました。2018年7月10日に「一般財団法人 湘友会奨学財団」(以下、奨学財団)を設立し、奨学金給付の事業を開始しましたが、このたび2019年2月4日に県から「公益財団法人」の認定を受けました。これは、神奈川県立高校の同窓会組織による奨学財団としては初めてのことです。

学校では、創立90周年の2011年から「私たちの舞台は 世界です」をスクールモットーとし、在学時から、広く視野を世界に向けそこで活躍する人材を育成することに力を注いできました。

こうした学校の方針に呼応し、湘友会では学校と提携して7年前から、3月下旬に8日間ほどの海外研修旅行を実施しています。これは姉妹校交流や海外修学旅行とは異なり、事前にネイティブから3ヶ月間、語学の研修を受けた後、研修先の海外の大学などで英語の講義を受けたり、大学生・高校生とのディスカッションなどにより、将来、国際社会で必要とされる資質の必要性を、身を以て体験する研修旅行です。2017年、2018年には、ノーベル化学賞を受賞した、本校卒業生の根岸英一博士が教鞭を執られているパデュー大学(アメリカ・インディアナ州)で研鑽を積みました。

奨学財団の奨学金は、応募者に対し、選考委員会での選考を経て、次のような研修等を希望する在校生等に給付されます。①短期海外研修 ②海外留学 ③(直接海外での研修・留学等ではなくても)海外志向の国内の活動[海外研修・留学を前提とした検定・資格試験] ④進学奨学金(経済的理由で大学進学が困難な在校生等の入学金等支援)。

このような背景のもと、一般財団としてスタートした奨学財団は、本年1月に第1回目の奨学金給付式を行いました。より堅固な奨学金支給・財団の基盤を築くために、公益財団法人化を指向したものです。また、公益財団化に伴い、寄付者にとって税制の優遇措置も受けられることになりました。財団の基金の一部は湘友会の積立金から拠出され、また湘友会会員を中心に、創立100周年記念奨学金募金(寄付)をお願い(2019年6月頃、募金開始予定)、それらを奨学財団の基金に充て、またそれ以後も継続寄付をお願いし財団の永続性を図る考えです。

なお湘友会としては、昨年来100周年の記念事業を盛り上げるべく、100周年記念マークを湘友会会員・在校生から公募し、多くの方からの応募作品から教職員・在校生・湘友会会員の投票並びに審査委員の審査により、決定しました。今後は記念マークをもとに、記念グッズ等の製作を通じて盛り上げてまいります。また湘南高校の伝統である活発な部活動を次の時代へつなぐべく各部活動OB会ごとの歴史編纂もスタートし、2021年に向けて音楽祭、映画祭、記念講演会、記念碑の建立、記念植樹等も計画しております。



湘南の風を世界へ

※詳細

お問い合わせ：湘友会(奨学財団担当)：小倉正道、小室敦彦

TEL：0466-50-0386

e-Mail shoyukai@cityfujisawa.ne.jp